模擬患者グループに感謝状

日本薬学会から「神戸ＳＰ研究会」に

国８－福 森田 修司

この度「日本薬学会」より神戸ＳＰ研究会の活動に対して感謝状が授与されました。

この研究会は国際８期のグループ学習「神戸で始めての SP ボランティア活動の理論と実践」から始まり、卒業後も発展的に活動しています。

大学病院の医療者と医療面接教育のお手伝いをする神戸 SP 研究会の会員

私たちがいままで患者として医療を受ける場合、患者側はともすれば受身の立場で「こうして欲しい」などと患者の希望を述べられる機会がなかったのです。そこで SP（模擬患者）として、学生さん（医学生、薬学生、看護学生など）や医療者(医師・薬剤師・看護師・理学療法士など)との医療面接を通じて、医療者の話し方、説明の仕方によって、患者にどのような影響を与えているかを、SP のフィードバックなどを通して気づいてもらい、その後の医療活動の実践に生かしてもらうのが SP の役割なのです。

この『医療面接実習』は、平成 13 年からの準備期間を経て、平成 17 年より医師国家試験の一部に取り入れられることになっています。そこでも SP は試験官と協力して重要な役割を果たさなければなりません。

薬大（薬学部）において平成 18 年度の入学生から 6 年制となり、薬学生の医療で果たす役割が大きく変ろうとしています。このため現役で活躍中の薬剤師の再教育と今後の指導者の養成も急務となっております。

それを踏まえて「厚生労働省による認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ」が全国的に開催されており、その時に模擬患者として協力したことに対する感謝状をいただきました。

今後は医療界だけではなく SP の活動の場が「弁護士」「サービス業界」にも，必要とされることになると実感しております。

あなたも模擬患者になってみませんか

ここは、ある大学医学部の学習室です。おおぜいの医学生さんの前で SP（模擬患者）と医療者役の学生さんとで医療面接が行われようとしています。

医療面接教育というのは医学生、薬学生、看護学生などが専門職として医学を学ぶだけではなく患者との意志疎通が充分にでき、かつ医療に必要な会話を患者との間でできるように、その能力向上のため行うコミュニケーション教育なのです。

私たち SP が病態を持った患者を想定したシナリオに基づき「模擬診察」を受け、学生さんと「医療面接」の会話の相手役をするのが模擬患者なのです。現在「神戸 SP 研究会」は新しい会員４名の参加を得て１２名で地元大学病院の医学生、薬科大学の薬学生さんと定期的な「医療面接教育」のお手伝いをいたしております。

あなたも、医療の将来を担う学生さん達の学習の手助けをするボランティア活動に参加してみませんか･･･。

〈会員の入会資格は問いません。入会金 1,000 円　会費 6 ヶ月 3,000 円です〉

問合せは…「神戸 SP 研究会」代表 森田　修司

電　話：078-581-6873

まで。

感　謝　状

神戸 SP 研究会　殿

あなたは「第 14 回 全国薬学教育者ワークショップ中四国」および「厚生労働省による認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ」において模擬患者を務められ薬学教育に多大なる貢献をされました。ここに感謝状を添えて深く感謝の意を表します。

平成 17 年 7 月 31 日

日本薬学会
会　頭　杉浦　幸雄

薬学教育協議会
理事長　望月　正隆

日本薬学会の感謝状

神戸 SP 研究会のメンバーのみなさん